

リウマチセンターだより

リウマチセンター センター長挨拶

2011年4月、獨協医科大学病院にリウマチセンターが設置されました。呼吸器・アレルギー内科と整形外科の密な協力によって、関節リウマチや膠原病の患者様に最適な治療法を受けていただくことが目標です。そのためには患者様と私たち医療スタッフ、あるいは医療スタッフ同士が気楽に話し合える関係になり、いろいろな情報を共有することが大切です。私たちの思いや活動内容を多くの方に知っていただきたいと考え、『リウマチセンターだより』を用意しました。ご要望、ご意見を遠慮なくお聞かせいただければ幸いです。

センター長 玉井和哉

第一回リウマチセンター講演会

2012年6月14日第一回リウマチセンター講演会が開催されました。『リウマチの薬物療法』を呼吸器・アレルギー内科准教授（現リウマチセンター教授）倉沢和宏先生、『リウマチの手術』をリウマチセンター長 玉井和哉先生、『リウマチの看護』を呼吸器・アレルギー内科看護師福田敏子さんが講演されました。院内の医療関係者を対象に行った講演でしたが、ここ数年で大きく進歩したリウマチ診療を皆さんに感じていただくことができたのではないかと思います。今後もこのような講演を企画していこうと思います。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

第1回リウマチ患者教室を開催しました

2012年11月24日（土）当大学病院3階大会議室においてリウマチセンター主催のリウマチ患者教室を開催しましたのでご報告いたします。連休の合間にも関わらず約50名の参加者がありました。

関節リウマチは近年、生物学的製剤の登場により治療が大きく変わりました。そこで、患者さんや家族に関節リウマチの病態と最新の治療、関連する福祉を中心に知識を身につけていただくことを目的としました。玉井和哉センター長の挨拶から始まり、『関節リウマチの最新治療』について医師の立場から前澤玲華先生（リウマチセンター内科）、看護師の立場から藤田俊子さん（看護部）にご講演いただきました。次に、『関節リウマチの治療薬』について岩瀬利康さん（薬剤部）、『関節リウマチに関連する福祉制度』について下田春美さん（医療相談部）にご講演いただき、最後に『高額限度認定証による経済的負担の軽減』について海老原充生さん（医事保健課）にご講演いただきました。また、講演の合間にはリウマチ友の会の方々にご協力いただいて自助具の展示を行いました。

参加者からは多方面からの情報が得られ大変よかった、今後も開催して欲しいなど好評いただきました。今後の治療や生活に役立てていただけるものと思います。今後も診療中にはお伝えしきれないような様々な情報を発信していこうと考えております。

編集後記

皆さま、寒くなりましたが、うがい・手洗いをし、風邪などひかないように注意して過ごしましょう。今後もリウマチセンターをよろしくお願いいたします。

